

令和4年度 自己評価表の公表				《集計表》		
		チェック項目	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	適切ではあるが、利用人数や活動量によっては狭いと感じることがある。全体を見渡せるスペースとなっているが、人数が多くなると狭く感じてしまうのでグループを作るなどの工夫が必要である。	3	1	1
	2	指導員の配置数は適切であるか	配置基準より多くの職員を配置しているが動きの多いお子様が多いため見守りや支援の必要性の高い子どもが多く利用する日は、特に個別活動の対応において不足感を感じることもあるので、人員増加の検討やさらにきめ細かい配置計画が必要である。	3	2	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	長期休暇中のように長時間の対応時、トイレ介助時や調理等の活動時には更なる指導員増員が必要と考える。	3	1	1
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	出来る限りの努力はしているが更に業務改善を進めていけるように事業所としてやっていきたい	2	3	
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けの評価表やアンケートはツールとして利用したことがなかった。これまではご意見をLINEやお電話、送迎でお会いした際にいただき業務改善につなげてきた。保護者の意見には様々な情報交換の中で真摯に耳を傾けている。	4	1	
	6	この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	今回からホームページを利用して公開する。	2	3	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価については今後検討していく。	2	3	
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	県や市からご案内頂いた研修にはほぼ必ず1名は参加している。内部研修も頻度は少ないが実施している。今後研修の回数などは増やして行きたい。	5		
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	利用開始時には必ずアセスメントを行っており、計画変更時には必ず行う。今後はアセスメントの頻度をあげていけるのであればさらに、個別支援計画書に繁栄させられるので頻度を上げる努力をしたい。	5		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	統一したアセスメントツールはあるが、進捗を把握するツールとしての機能が果たせていないと思われる。今後は進捗把握という視点をもって継続的に使用していく。	2	3	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児童発達支援管理責任者が統括する中で、複数名の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施に当たっての準備を行っている。	3	2	
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	毎月工夫してプログラムを作成し、1か月分のプログラム表を利用者へ事前に配付している。	3	2	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	個別活動と集団活動(活動プログラム)を時間配分し、日々組み合わせている。ただし、個別活動への職員の関わり方(支援、声かけ、見守り)については組織的かつ計画的にその方法を決定し、職員全員に周知する必要があると感じている。	3	2	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	集団療育の比重が少し高くなりがちだが、子どもに応じて個別活動と集団活動を組み合わせる努力をしており放課後等デイサービス計画書にも繁栄させている。	4	1	

証 供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日ミーティングを行いその日の現場状況により役割分担を行っている。長期休暇時の開始前打合せは時間的な制約があって難しいのが現状である。	5		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	利用者一人ひとりの活動記録を、その日関わった職員全員で記録し、情報共有できる体制は出来ている。送迎などで帰りが遅くなる職員とはその日にしっかりと共有できない時があるので今後はしっかりと共有できるように努めたい。翌朝のミーティングでは前日の振り返りを行っている。	3	1	1
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	申し送りなどを含め支援の検証・改善に努めている。	4	1	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	モニタリングは定期的に行っており見直しが必要であればその都度する体制は整えている。	3	2	
	19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	厚労省のガイドラインに示されている基本活動を指針として、活動プログラムを作成している。	2	3	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか	担当者会議の日程が一方向的に決められ、公休やシフトの関係で必ずしも最も相応しい者が参画できるわけではないが、できる限りの対応はしている。	3	2	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対等、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校情報は保護者を通じて保護者との間で行っている(学校から配付されたプリント類など)。学校に送迎にうかがった時には、出来る限り先生とお話する時間を取って、情報共有を図っている。	3	2	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療ケア児がいない。今後も対象児童が現れた際にはしっかりと対応できるようにしたい。		5	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	まだ開所間もないのでそのような事案は多くないが必要に応じて情報共有しており今後もしていきたい。	3		2
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現時点でその対象児童がいないが対象児童が出てきた際は情報を提供したい。		3	2
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	助言や研修は受けていないが、専門機関とは必要な際はしっかりと連携している。今後も連携できるように努めたい。	1	3	1
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	コロナの影響もありなかなかできていなかったが今後は検討していきたい		2	3
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	子ども部会という近隣放課後等デイサービス事業所や各役所の方が集まる会には参加し情報共有している。	3	1	1
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日々の連絡の中やその都度保護者の方とは密に連絡し情報共有する事を心がけているが更に共通理解をもてるように保護者様との関係を築いていきたい。	4	1	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	個別支援計画のご説明時や日々の連絡のなかでできる範囲で行っているが、全利用者にはできていないので今後はご相談を受けた時以外でもできるよう努めたい。	1	3	1

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	利用契約の締結時には、利用規約、運営規程、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や上限額管理の仕組みと利用方法、利用のしおりをういた具体的な利用方法まで懇切丁寧に説明を行っている。	5		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	ご相談頂ければ全て真摯に対応している。担当者一人では適切な助言が出来ない場合は、事業所として適切な回答を模索した上でアドバイスをお返ししている。事例を担当した者は一部の職員だけで共有せず、全職員で共有できるように努める。	5		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナやその他の問題もあり開催できていないが、今後の課題として検討したい。		2	3
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	契約時にご説明すると共に、迅速かつ適切を旨として苦情対応にあたっている。	3	2	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報等は発行していないが毎月LINEにて行事などの連絡をすると共に毎回ご利用時に活動内容などは連絡帳にてご連絡している。	3	1	1
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報が記載されている文書は鍵付きのロッカーで保管し、それら文書の廃棄にはシュレッターを使うなど、個人情報の取扱には注意している。従業員には書類の持ち帰りなどさせないようにしており、秘密保持契約書も交わしており退職後も個人情報が流出しないよう努めている。	3	2	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	LINEなどを活用して保護者様とは密に連絡を取るようになっている。もっと配慮できるように今後も工夫していきたい。	3	2	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	コロナの影響もありなかなかできていなかったが今後は検討していきたい		2	3
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者に対しては周知できていない。今後はモニタリング等の機会を見つけてご説明したい。	2	3	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	当事業所の構造上、避難経路が単純なので、訓練がおろそかになっている。まだ開所して時間が経っていないので防災訓練は行ったが避難訓練ができていないので実施する。	4		1
	40	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修会があれば参加しているし、そのような事例を情報として見聞きしたときには注意喚起している。入社後すぐに研修するようにはしている。	5		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	保護者には契約時にご説明し理解していただいている。事業所内でも研修などにより周知しているが、虐待防止上必要とされる身体拘束の3原則を今一度全職員で確認したい。	3	2	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	指示書、保護者の申告に基づいて対応している。但し、常に医師の指示書の提出を求めているので、保護者からの指示や事業所としての調査に基づいて対応している。		5	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	共有している。事業所内で話し合い基準は決めており、その基準が個人の判断にならないように話し合いヒヤリハットを作成している。	5		